

令和4年度 第1回 静岡県道路交通渋滞対策推進協議会 議事要旨

日時: 令和4年8月31日(水) 15:00~17:00
場所: 静岡国道事務所 2階会議室・Zoom

1. 議題

(審議)

- (1) 規約の改正
- (2) 渋滞対策の進捗
- (3) 渋滞対策の効果・影響
- (4) 今後の渋滞対策
- (5) 主要渋滞箇所のモニタリング

2. 議事要旨

- ・協議会の部会員に一部改正があることを報告。
- ・(主) 浜松雄踏線は、交差点東側・西側ともに右折帯延伸の工事が令和4年2月10日に完了。右折車両滞留による本線直進交通への障害が緩和され、右折車線手前付近での速度向上を確認したことを報告。
- ・国道138号須走道路および御殿場バイパス(西区間)は須走口南IC~ぐみ沢IC間が令和3年4月10日に開通。山梨方面の観光交通等が、信号が連坦する旧道からバイパスに約8割転換し、生活交通との分散が図られ速度低下が解消したことを報告。
- ・浜松バイパス(長鶴~中田島)は、令和4年度に新規事業化が決定。今年度は、設計及び地質調査を実施。整備により、立体化区間での旅行速度向上、渋滞緩和が期待。また、現道拡幅区間では、所要時間減少が期待されることを報告。
- ・(都) 植松伊左地線(追分工区)は、現在現道拡幅工事を実施中。整備により、下池川交差点~浜松北高東交差点が全線4車線となり渋滞緩和が期待されることを報告。
- ・(一) 湖東和合線(自衛隊南)交差点は、平成31年度に交差点改良事業に着手し、今年度工事を発注予定。交差点南側の右折車線及び東側の左折車線の新設により、滞留車両が減少し、渋滞緩和が期待されることを報告。
- ・令和4年度より「静岡南北道路長沼立体」として概略ルート・構造の検討(計画段階評価)へ着手することを報告。
- ・国道1号静岡バイパス瀬名IC・鳥坂IC交差点及び国道1号二軒家交差点においては車線拡幅による渋滞対策を決定したことを報告。
- ・国道1号静岡バイパス清水立体は、開通により期待される渋滞緩和を報告。
- ・国道1号南安倍~手越原交差点(リバーシブルレーン区間)については、今後、AIカメラによる画像分析により交通課題を把握していくことを報告。
- ・伊豆縦貫自動車道河津下田道路(Ⅱ期)のうち、河津IC(仮称)~逆川IC(仮称)間が令和4年度開通予定。開通により、時間短縮や観光バスの迂回解消が期待されることを報告。

- ・東駿河湾環状道路三島玉沢 IC～大場・函南 IC 間下り線 サグ部において、速度低下を防ぐために走行型視線誘導システム（エスコートライト）の設置を検討していることを報告。
- ・主要渋滞箇所のモニタリング結果について報告するとともに、現地確認方法について審議し、了解が得られた。今年度のモニタリングの結果、渋滞緩和が確認された白羽、水土野、仁杉、リサーチパーク入口、須走南の5箇所について、主要渋滞箇所からの削除可否について審議し、全箇所削除する方針で了解を得た。



▲会議風景